

## 臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学病院では、研究倫理審査委員会の承認を得て、実施機関の長の許可のもとに下記の臨床研究を実施しています。

研究課題名	注射薬の不適切な投与経路禁止システムによる医療安全への影響
研究機関名	金沢医科大学病院
研究機関の長	病院長：川原 範夫
研究責任者	金沢医科大学病院薬剤部 中川 武史
研究期間	研究実施許可日 ～ 2027 年 3 月 31 日
対象者	金沢医科大学病院において、2023年3月から2025年2月までの2年間に注射薬の治療を受けた方
当該研究の意義・目的	金沢医科大学病院では従来は原則全ての投与経路および手技が選択可能であった。2024年3月以降は医師が電子カルテで医薬品添付文書の用法から逸脱する投与経路を選択した場合に、エラーメッセージが表示され、オーダ確定不可となるようマスタ設定を行っていません。本研究の目的は本運用の安全面での有用性を検証することです。
方法および研究で利用する試料・情報の取得方法	本研究は、電子カルテから注射薬のオーダ情報（投与経路等）を収集するとともに、副作用等の発生状況を解析します。この研究では、患者さんの個人を判別できる情報を集めることはありません。またこの研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。電子カルテにより、上記期間中に得られた情報を本研究のために使用させていただきます。得られた研究データは、学内規程で定められた研究発表後10年間保管され、その後適切な方法にて破棄されます。この研究ではゲノム情報の取扱いはありません。
利用又は提供する外部への試料・情報の提供	外部への提供はありません。
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の間合せ先にご相談ください。
利益相反について	この研究の計画・実施・報告においては、金沢医科大学利益相反マネジメント規程に則って、適正に行われます。また、この臨床研究にご参加いただくことであなたの権利・利益を損ねることはございません。
資料の閲覧及び研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止する旨について	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。この研究で使用されるデータは個人の判別が出来るものではありませんので、個別に結果を返すことはできません。
間合せ先	その他、この研究に関するお問合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学病院 薬剤部 中川武史 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1 ☎：（代表）076-286-3511 内線（25672）

作成日：2026年3月6日